

# 第65期 株主通信

平成23年4月1日～平成24年3月31日

株式会社 **小林洋行**

株主の皆様へ

# TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに「第65期 株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社ではグループの業績の早期回復を実現するため、第65期におきまして不採算事業で将来性の見込めない部門からの撤退をすすめました。また、経営を行う組織と事業推進を行う組織を明確に分離することによって、グループ経営資源の最適な配分を図り、事業環境の変化に柔軟に対応していくため、平成23年7月1日より持株会社体制へ移行しました。

当社は、投資・金融サービス業（商品先物取引、証券取引、外国為替証拠金取引）、生活・環境事業（生命保険・損害保険の募集、LED照明の販売）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業、その他（インターネット広告業等）、を営む各社の経営管理を行い、全力で業績回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしく  
お願い申し上げます。

平成24年6月  
代表取締役社長 細金 成光

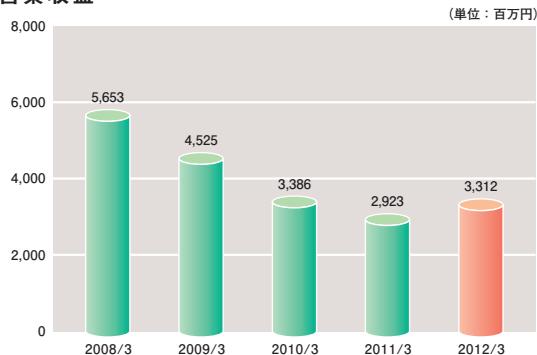
## 業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示して  
おりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がま  
まり次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

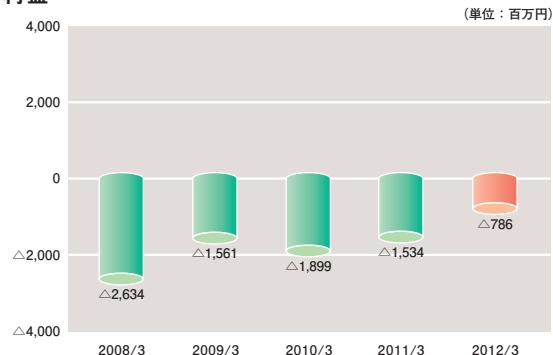
# 連結業績の推移 Highlight

## 営業収益

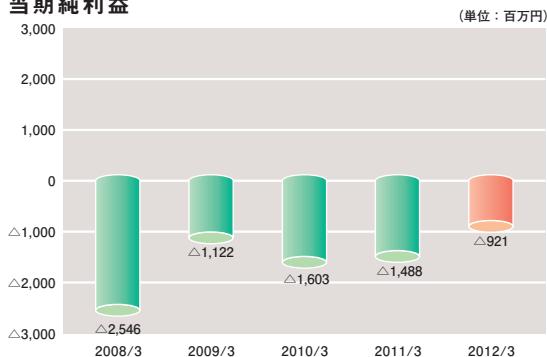


(注) 営業収益につきましては、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」を適用し、遡及処理しております。

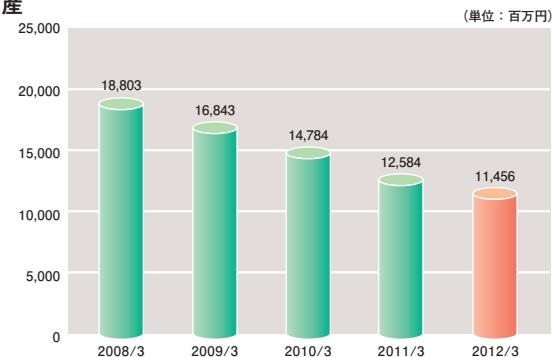
## 経常利益



## 当期純利益



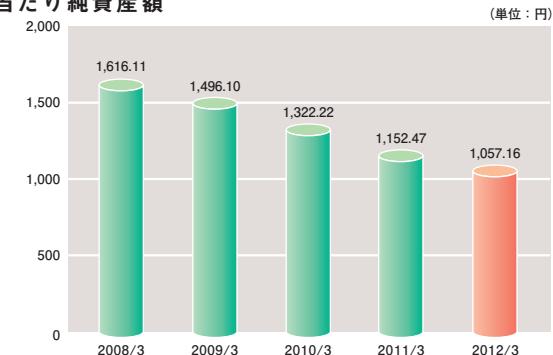
## 純資産



## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり純資産額



# 連結財務諸表

## ●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	9,493	12,246
現金及び預金	5,438	6,323
保管有価証券	96	78
委託者先物取引差金	435	394
差入保証金	1,804	3,553
預託金	944	1,214
その他の金	783	693
貸倒引当金	△ 7	△ 10
固定資産	5,806	6,261
有形固定資産	3,642	3,805
無形固定資産	101	151
投資その他の資産	2,062	2,304
資産合計	15,299	18,507
負債の部		
流動負債	3,243	5,332
預り証	2,940	4,761
その他の金	303	571
固定負債	530	489
特別法上の準備金	68	100
負債合計	3,843	5,923
純資産の部		
株主資本	9,762	10,707
資本	2,000	2,000
資本剰余金	888	888
利益剰余金	7,328	8,273
自己株式	△ 454	△ 454
その他の包括利益累計額	221	176
少数株主持分	1,471	1,699
純資産合計	11,456	12,584
負債・純資産合計	15,299	18,507

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業収益	3,312	2,923
営業総利益	2,247	2,899
営業費用	3,159	4,487
営業損失	912	1,588
営業外収益	141	85
営業外費用	16	30
経常損失	786	1,534
特別利益	76	99
特別損失	295	462
税金等調整前当期純損失	1,005	1,896
法人税、住民税及び事業税	16	47
法人税等調整額	114	14
少数株主損失	214	469
当期純損失	921	1,488

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 314	△ 1,424
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,417	415
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12	△ 84
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
V. 現金及び現金同等物の増減額	1,090	△ 1,093
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,574	2,668
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,665	1,574

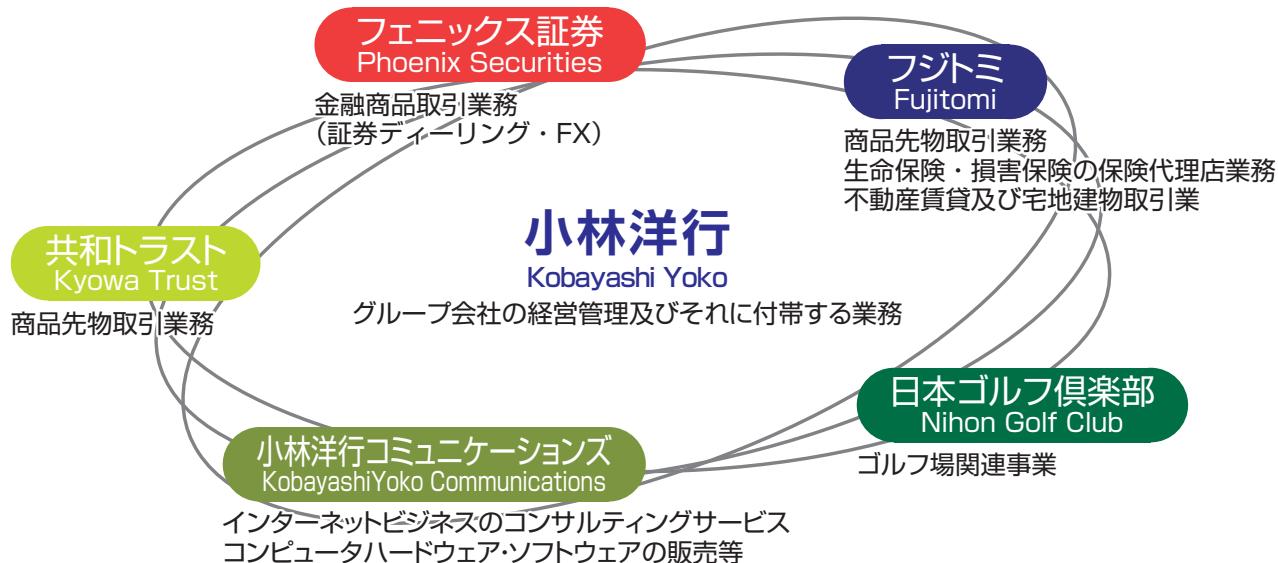
## ●業績の概要

当社グループは平成24年3月期において、不採算事業で将来性の見込めない部門であった当社の自己ディーリング部門及び外国為替証拠金取引部門から撤退いたしました。また、株式会社フジトミは丸梅株式会社を解散し、商品先物取引部門を同社に集約することで経営の効率化を図りました。こうした不採算の収益部門を切り離すグループ再編を行ったことが、当連結会計年度においては一時的な減収要因になったため、金価格の高騰に伴い貴金属市場の売買高は増加し注目されることとなりましたが受取手数料は1,469百万円でありました。自己ディーリング部門では、特に証券部門が市況の低迷により伸び悩んだことが響き、売買高は189百万円に留まりました。

生活・環境事業のうち、太陽光発電機、オール電化機器等の販売事業におきましては、電力供給不安が影響しIH調理器などのオール電化機器の販売が低調に推移いたしました。太陽光発電が脚光を浴び需要が拡大したこともあり、売上高は前期より9.4%増の994百万円となっております。また、スポーツ施設提供業におきましては、営業面においてマイナス要因が重なり、決して恵まれた事業環境とは言えませんでした。集客率アップや会員権販売に向けた営業努力により、売上高は前期並の409百万円を確保することが出来ました。これら以外の不動産業などを含めた営業収益は3,312百万円、営業総利益は2,247百万円となっております。

一方、グループ経営組織の再構築を推し進めたことにより営業費用は3,159百万円まで圧縮されましたが、経常損失786百万円となりました。また、減損損失135百万円や固定資産売却除却損98百万円などの特別損失295百万円を計上したため、当期純損失は921百万円となりました。

## グループ会社



## 投資・金融サービス業

### 業界最新のシステムを導入した フジトミのオンライン商品先物取引『FITS』

顧客満足度No1を実現するために  
お客様のご意見から開発されたシステムです。  
パソコン操作が苦手な人や既存のトレードシステムでは  
物足りなさを感じるベテランの方にもご満足いただける取引環境を  
低廉な手数料（片道393.5円）にて提供しています。  
お客様のニーズにお応えするため、  
今後はクイック入金の実入やスマートフォンへの対応を予定しています。  
<http://www.fits.cx/>



## スポーツ施設提供業

### 年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯 ゴールドエンクロスカントリークラブ

エバーグリーンの広大なステージ。  
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。  
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとつを、  
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。  
フェアウェイ・ティーグラウンドに 寒地型芝草（ペレニアル  
グラス）をオーバーシーティングして、年間を通じて鮮やか  
な緑の芝生でプレーができます。

千葉県長生郡長南町市野々575  
TEL 0470-82-5211



## その他の事業

### あしたのために、“いま”に備える 小林洋行コミュニケーションズ

小林洋行コミュニケーションズは、インターネットからの集客をサポートするSEOコンサルティングをはじめ、気象庁から配信される緊急地震速報システムの販売や企業や学校などの電力コストの大幅削減を可能にする工事不要のLED（発光ダイオード）蛍光灯、独立電源の蓄電式太陽光発電機を販売しています。

「あしたのために、“いま”に備える」。

株主の皆さまには、特別価格にてご提供いたします。

お問い合わせは、TEL03-3669-4331までどうぞ。

商品の詳細は、<http://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/>  
※特別価格による提供は、平成24年12月31日までとなります。



# 株式の状況

平成24年3月31日現在

# 会社概要

■ 株式数	発行可能株式総数	27,000,000株
	発行済株式総数	10,094,644株
■ 株主数		6,738名
■ 大株主		

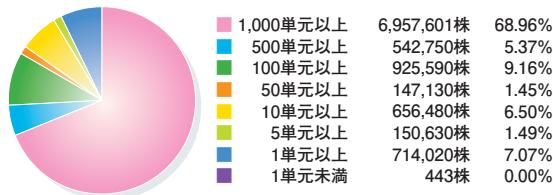
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
細 金 獅 生	1,441	14.28
株 式 会 社 東 京 洋 行	1,427	14.13
日本アジアホールディングス株式会社	549	5.44
株 式 会 社 り そ な 銀 行	463	4.59
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	330	3.26
共 和 証 券 株 式 会 社	312	3.09
細 金 英 光	243	2.41
細 金 成 光	242	2.40
細 金 千 恵 子	170	1.68
パーシング デヴィジョン オブ ドナルドソノラフキン アンド ジェレット エイジー シー コーポレーション	161	1.59

- (注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式650千株(持株比率6.44%)があります。  
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況 (1単元 100株)



商 号	株式会社 小林洋行
英 訳 名	KOBAYASHI YOKO CO., LTD.
本 社	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号
設 立	1949年(昭和24年)3月26日
資 本 金	20億円
主な事業内容	グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務 不動産賃貸業
役 員	取 締 役 会 長 山 下 英 樹 代表取締役社長 細 金 成 光 取 締 役 宮 崎 誠 二 取 締 役 大 丸 直 樹 常 勤 監 査 役 奥 田 啓 二 監 査 役 長 藤 史 郎 監 査 役 霞 信 彦

(注) 監査役長藤史郎氏及び霞 信彦氏は、社外監査役であります。

連結従業員数 196名(平成24年3月31日現在)

主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・  
三井住友信託銀行株式会社  
小林洋行グループ(連結子会社)  
株式会社フジトミ  
(大阪証券取引所JASDAQ 証券コード8740)  
株式会社共和トラスト  
フェニックス証券株式会社  
株式会社日本ゴルフ倶楽部  
(ゴールデンクロスカントリークラブ運営)  
株式会社小林洋行コミュニケーションズ

## 株主メモ

### 事業年度

(毎年4月1日から翌年3月31日まで)

### 定時株主総会

毎年6月

### 基準日

定時株主総会については3月31日といたします。  
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

### 剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。  
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理人である日本証券代行株式会社までご連絡ください。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### (電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

### 【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である日本証券代行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

### 公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

# 株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<http://www.kobayashiyoko.com/>

## 株主優待制度

毎年3月31日現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上 1,000株未満 おこめ券 2枚  
所有株数 1,000株以上 おこめ券 5枚

※おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。

